

株主の皆様へ

# 第88期 株主通信

平成19年4月1日～平成20年3月31日

CKD株式会社

証券コード：6407

CKD

## ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに、当社第88期（平成19年4月1日から平成20年3月31日まで）の営業の概況及び決算内容につきましてご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役会長  
石田正範



代表取締役社長  
梶本一典

## CKD Green Technology

当社グループでは、「CKD環境方針」に基づいて、  
環境対応型商品の開発を強力に推進しています。  
省エネ・省資源化、汚染物質低減・汚染防止、  
有害物質の排除（EUで発効のRoHS対応）、静音化、対環境性など、  
年度ごとに高い目標を設定し、  
人と地球にやさしい製品づくりに取り組んでいます。

## CKDの主な製品の市場ポジション

### 自動機械部門

#### 管球製造システム

世界シェア  
70%

#### 薬品包装システム

国内シェア  
80%

### 機器部門

#### 半導体用薬液制御機器

国内シェア  
60%

#### 流体制御機器

国内シェア  
60%

# CKDのアドバンテージ

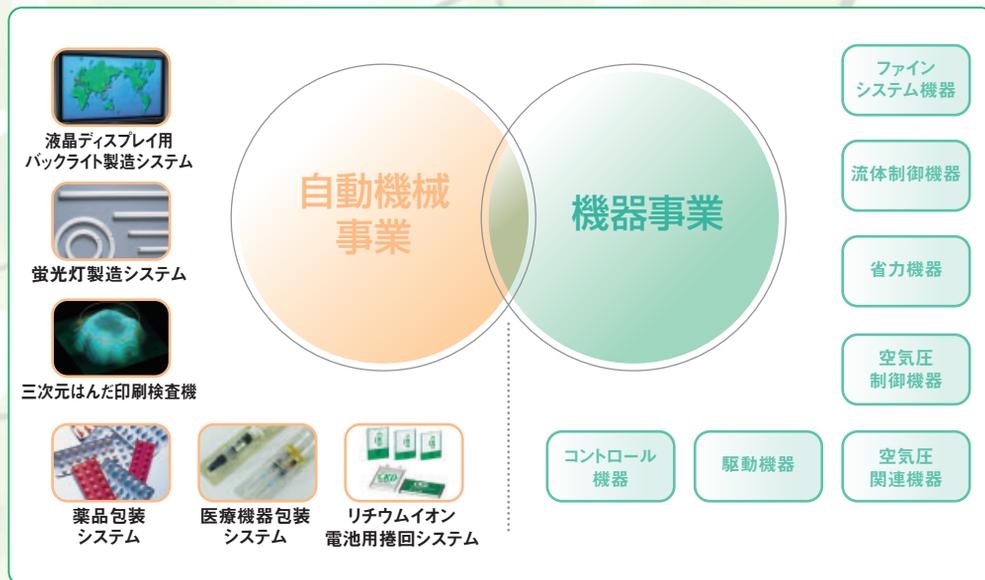
CKDは昭和18年の創立以来60年以上にわたって、自動化技術や流体制御技術の研究開発に取り組んできました。長い歴史に培われた独自の先端テクノロジーは、他社の追従を許さない圧倒的シェアを持つ製品群に結実しています。

大型LCDの光源として使用されるCCFLタイプのバックライトを生産するシステムは世界70%のシェアを有し、液晶に代表されるフラットパネルディスプレイ（FPD）の大型化に寄与しています。高い安全性と環境性能をもつ薬品用自動包装システムは国内で80%のシェアを占めています。また、半導体製造に

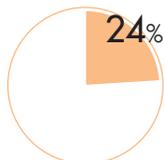
欠かせない薬液制御機器や、あらゆる産業に応用可能な流体制御機器についても国内でトップの地位を堅持しています。

未知の技術領域に果敢に挑戦するフロンティアスピリットと徹底した品質へのこだわり、そしてお客様に最良の商品やシステムをご提供していくという顧客満足の追求こそ、CKDの成長への原動力です。

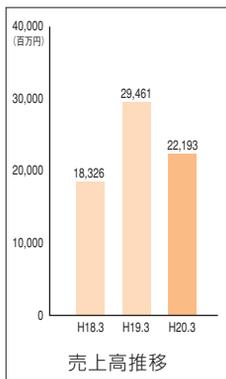
CKDは世界14カ国に海外拠点を有するグローバル企業として、これからも独創技術の開発と万全の品質管理を通じて産業と社会に貢献し、自動化技術の未来を切り拓いていきます。



## 自動機械事業



売上高構成比



売上高推移

### 事業概要

自動機械事業は照明機械、産業機械、包装機械を中心にさまざまな産業分野の生産性向上に貢献しています。

創業以来の伝統をもつ照明機械は、液晶テレビの光源として用いられるCCFLバックライトの製造設備が世界マーケットでトップのシェアを誇っています。

産業機械は、携帯電話などで使用されるリチウムイオン電池の製造機械や、独自の三次元検査技術によって高精度と高速化を両立したはんだ印刷検査装置をエレクトロニクス産業向けに提供しています。

また包装機械は、医薬品包装工程を自動化する最新鋭のシステムをラインアップしており、なかでも1錠ずつポケットに包装するプリスター包装では、1分間に6,000錠を包装する国内最高速のスピードを実現しています。

### 当期の業績

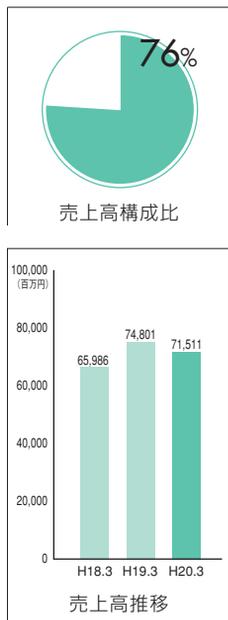
自動機械部門につきましては、薬品包装機械は堅調に推移したものの、昨年度の液晶テレビ用バックライト製造装置の特需がなくなり、連結売上高は前期比24.7%減の221億93百万円、営業利益は前期比24.7%減の39億89百万円となりました。

### 薬品用自動包装システム

PTP包装システム「FBPシリーズ」は、錠剤をPTP (Press Through Pack=押し出て取り出す包装) と呼ばれるシートに1錠単位で包装するシステムです。最高毎分6,000錠包装の高性能を実現するとともに、フィルム使用量や消費電力、エア消費量を大幅に削減し、環境負荷低減に対応しています。



# 機器事業



## 事業概要

機器事業は、ファインシステム機器、流体制御機器、省力機器、空気圧機器など、CKDの自動機械技術から生まれた最先端の機器製品から構成されています。

ファインシステム機器では、半導体や液晶といったクリーンな環境で使用される薬液用バルブや集積化ガス供給システムなどの制御機器を提供しています。

流体制御機器は各種バルブ類から処理システムなどの環境機器まで幅広いラインアップを有しています。ダイレクトドライブアクチュエータなどの省力機器は、自動化の永遠のニーズである「品質向上とコスト低減」に応えた画期的な商品です。

さらに空気圧機器は、各種シリンダ、バルブなどの制御機器や、工場の省エネに効果を発揮する流量センサなど豊富な商品群を取り揃えています。

## 当期の業績

機器部門につきましては、下期以降景気減速の影響を受け、第1四半期まで好調だった半導体関連業界向けの売上が低迷し、連結売上高は前期比4.4%減の715億11百万円、営業利益は原材料高騰と販売価格の低下により前期比23.5%減の83億7百万円となりました。

## クリーンエア機器

クリーンエア機器は、空気圧システムにおいて圧縮空気に含まれる油分や水分などを除去するなど、圧縮空気を適正な状態にするために必要不可欠な商品群です。フィルタ、レギュレータ、ルブリケータなどの機器によって構成されますが、新商品の「エアユニットCXUシリーズ」では、構成機器をモジュール化して結合させることで、省配管、省スペース、組立工数の削減が可能となります。



## ( Topics 1 )

### [新商品] 医薬・医療機器用ブリスター包装機「メディカルブリスター MBP-500M」



当社は、錠剤やカプセルを成形したポケットに自動充填してシート形態に包装する機械（PTP機）のトップメーカーとして、お客様である製薬会社様からご好評をいただいておりますが、この度、PTP機で培った技術を活かし、医薬・医療機器用の新型ブリスター包装機「メディカルブリスター MBP-500M」を発売いたしました。

医薬・医療機器製品の代表的なものとしては、薬剤充填済み注射器、注射針、カテーテル、手術用器具、衛生材料などがあげられますが、容易に外気に触れない確実な包装と視認性に優れたパッケージが求められています。

MBP-500Mは、このような要求にお応えし、優れた清掃性、徹底した異物混入防止対策、高い容器成形技術、低消費電力、品種切り替え時間の大幅な短縮など、当社が長年培った技術を活かした高性能な新商品です。

## Topics 2

### [新商品] 三次元はんだ印刷検査機「VP6000シリーズ」



電子部品の実装工程においては、部品の微小化や高集積化ICの採用が増えているに伴い、高精度な三次元はんだ印刷検査機の需要が急速に拡大しております。

このような市場の要求にお応えし、「高速」、「高精度」かつ「簡単操作」を実現した三次元はんだ印刷検査機「VP6000シリーズ」を発売いたしました。この新商品では、従来機に比べ検査スピードは最大2倍、繰返し精度は約4倍、検査プログラム作成時間は約1/4を達成しております。当社は、電子部品実装業界で初めてはんだ印刷検査の自動化を実現し、三次元はんだ印刷検査機の分野ではトップシェアを維持しておりますが、今後も市場の要求にお応えし、お客様の生産性向上に貢献してまいります。

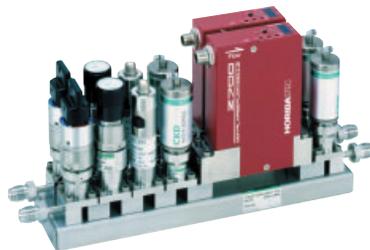
## Topics 3

### [新商品] 超小型集積化ガス供給システム「IAGD5シリーズ」

集積化ガス供給システムは、半導体製造装置のプロセスガス用流体制御機器において、メンテナンス性向上、小型化、溶接箇所削減をコンセプトに開発し、当社が世界で初めて商品化した製品です。これまで数多くの実績を誇り、今では半導体製造装置におけるプロセスガス供給系の業界標準になっております。

集積化ガス供給システムの新商品「IAGD5シリーズ」は、従来品と比較して専有面積の30%削減、重量の40%軽量化を実現し、半導体製造装置のさらなる小型化、軽量化に貢献しています。

当社は今後も半導体製造プロセス・装置の進化を独自の流体制御技術で支えてまいります。



# 営業の概況

## 当期の業績

当期におけるわが国経済は、年度前半は堅調な設備投資、輸出などに支えられ企業収益が改善し、景気は緩やかながらも回復基調が続いておりましたが、年度後半は米国のサブプライムローン問題に端を発した株価の大幅下落、原油価格・原材料価格の引き続き高騰、急激な円高などにより、景気後退の色が濃くなってきています。

このような状況のもと、当社グループは昨年度まで好調を維持していましたが液晶テレビ用バックライト製造装置の売上が減少し、機器部門においても、半導体製造装置関連業界の需要が減少したことにより、前期比で減収減益となりました。

まず、経営管理の面では、内部統制を強化し、会社法の要求するリスク管理体制、子会社管理体制等、内部統制の整備を完了いたしました。

営業面では、自動機械部門と機器部門が一体となって相乗効果をあげるための体制を整えました。

海外拠点については、台湾支店を現地法人化し「台湾喜開理股份有限公司」を設立し半導体

関連業界を中心に受注拡大を進めました。

成長の続く中国では、喜開理（上海）機器有限公司に現地責任者を登用し、中国市場のシェア拡大を図りました。

他の海外拠点におきましても現地マネージャーの増強を行い、売上拡大を図りました。

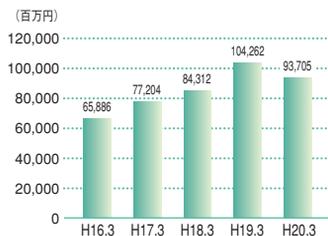
生産面では、販売価格の低下、原材料価格の高騰に対応するため、V A設計、コストダウンに注力いたしました。

開発面では、事業の柱となる基幹商品の育成、開発を推進すると同時に、省電力、省資源化を意識した環境負荷低減商品にも力を入れ開発を促進いたしました。

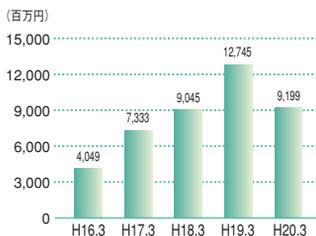
当期における連結業績は、売上高は前期比10.1%減の937億5百万円、営業利益は前期比25.4%減の94億82百万円、経常利益は前期比27.8%減の91億99百万円、当期純利益は前期比26.4%減の55億46百万円となりました。

## 連結

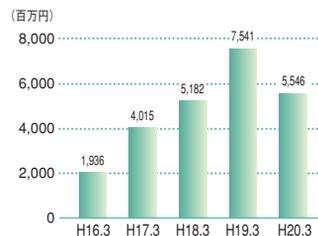
### 売上高



### 経常利益



### 当期純利益



## 設備投資の状況

当期の設備投資は、生産性向上を目的とした機械装置の更新、取得を中心に、総額は24億70百万円となりました。

## 資金調達の状況

当社は、運転資金の効率的な調達を行うため、取引銀行3行と貸出コミットメント契約を締結しております。この契約に基づく当期末日における貸出コミットメントの総額は65億円であり、借入実行残高は55億円であります。

## 対処すべき課題

当社グループは、平成20年度方針として「海外販売を強化して事業拡大」、「環境対応型商品の重点開発」、「品質経営でお客様満足度の向上」、「法令順守の徹底と内部統制の定着」、「時間管理による業務効率の改善」の5つの方針を実践してまいります。

### ① 海外販売を強化して事業拡大

事業拡大のためには、海外での販売増強が

一層重要となってまいります。アジアを中心にグローバルな事業展開を加速するために、海外代理店網の強化、現地マネージャーの増強、現地生産体制の整備を図ってまいります。

### ② 環境対応型商品の重点開発

省電力、省資源化を意識した環境負荷低減商品に力を入れ開発の促進をいたします。

### ③ 品質経営でお客様満足度の向上

品質重視でお客様の信頼を確立することが重要であります。量と品質、コストは一体の関係ではありますが、お客様本位で基準を見直し、コストを重視しながら品質保証ができる体制を構築してまいります。

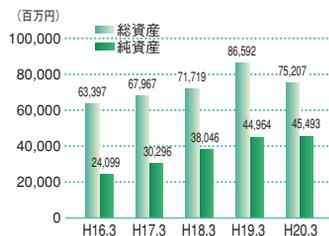
### ④ 法令順守の徹底と内部統制の定着

社員全員が行動規準や規定、要領を十分に理解し、内部統制の定着を推進してまいります。

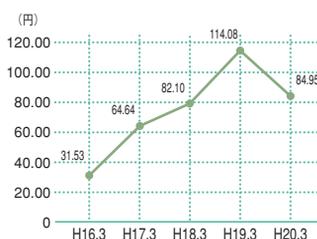
### ⑤ 時間管理による業務効率の改善

目的重視で効率的な仕事ができるよう業務効率の改善を図ってまいります。

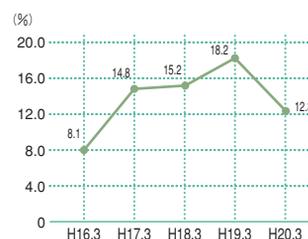
### 総資産・純資産



### 1株当たり当期純利益



### 自己資本利益率 (ROE)



# 連結財務諸表

## ● 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当 期	前 期
	平成20年3月31日現在	平成19年3月31日現在
<b>資 産 の 部</b>		
<b>流 動 資 産</b>	<b>45,150</b>	<b>54,160</b>
現金及び預金	3,611	4,468
受取手形及び売掛金	20,435	25,782
営業未収入金	2,395	3,538
たな卸資産	16,591	17,855
繰延税金資産	1,342	1,576
その他	798	993
貸倒引当金	△24	△54
<b>固 定 資 産</b>	<b>30,056</b>	<b>32,432</b>
<b>有 形 固 定 資 産</b>	<b>23,464</b>	<b>24,479</b>
建物及び構築物	10,886	11,484
機械装置及び運搬具	6,237	6,293
工具器具及び備品	1,386	1,842
土地	4,606	4,596
建設仮勘定	346	262
<b>無 形 固 定 資 産</b>	<b>541</b>	<b>631</b>
ソフトウェア等	541	631
<b>投資その他の資産</b>	<b>6,050</b>	<b>7,321</b>
投資有価証券	3,747	5,622
関係会社株式	142	2
繰延税金資産	697	926
その他	1,552	826
貸倒引当金	△88	△55
<b>資 産 合 計</b>	<b>75,207</b>	<b>86,592</b>

科 目	当 期	前 期
	平成20年3月31日現在	平成19年3月31日現在
<b>負 債 の 部</b>		
<b>流 動 負 債</b>	<b>28,042</b>	<b>34,729</b>
支払手形及び買掛金	13,582	15,517
短期借入金	6,270	1,983
一年内返済予定の長期借入金	1,305	5
未払費用	2,553	3,178
未払法人税等	452	3,179
製品補償引当金	83	60
受注損失引当金	93	-
その他	3,700	10,804
<b>固 定 負 債</b>	<b>1,670</b>	<b>6,898</b>
社 債	360	1,590
長期借入金	5	1,310
退職給付引当金	195	3,041
役員退職慰勞引当金	-	188
その他	1,109	768
<b>負 債 合 計</b>	<b>29,713</b>	<b>41,628</b>
<b>純 資 産 の 部</b>		
<b>株 主 資 本</b>	<b>45,384</b>	<b>43,609</b>
資 本 金	11,016	10,400
資 本 剰 余 金	12,612	11,998
利 益 剰 余 金	25,869	21,978
自 己 株 式	△4,113	△768
<b>評 価 ・ 換 算 差 額 等</b>	<b>109</b>	<b>1,355</b>
その他有価証券評価差額金	△321	1,009
為替換算調整勘定	431	345
<b>純 資 産 合 計</b>	<b>45,493</b>	<b>44,964</b>
<b>負 債 純 資 産 合 計</b>	<b>75,207</b>	<b>86,592</b>

## ●連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当 期	前 期
	自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日	自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日
売 上	93,705	104,262
売 上 原 価	68,483	75,163
売 上 総 利 益	25,221	29,099
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	15,739	16,383
営 業 利 益	9,482	12,715
営 業 外 収 益	523	532
受 取 利 息 ・ 配 当 金	133	81
そ の 他	389	451
営 業 外 用 費	806	502
支 払 利 息	117	96
売 上 割 引	273	228
為 替 差 損	282	-
そ の 他	132	177
経 常 利 益	9,199	12,745
特 別 利 益	892	12
固 定 資 産 売 却 益	40	12
退 職 給 付 信 託 設 定 益	810	-
そ の 他	40	0
特 別 損 失	579	204
固 定 資 産 処 分 損	95	204
製 品 捕 償 引 当 金 繰 入	90	-
投 資 有 価 証 券 評 価 損	351	-
そ の 他	42	0
税 金 等 調 整 前 当 期 純 利 益	9,511	12,554
法 人 税 ・ 住 民 税 及 び 事 業 税	2,775	4,548
法 人 税 等 調 整 額	1,189	464
当 期 純 利 益	5,546	7,541

## ●連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科 目	当 期	前 期
	自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日	自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日
営業活動による キャッシュ・フロー	10,113	7,715
投資活動による キャッシュ・フロー	△10,319	△6,603
財務活動による キャッシュ・フロー	△799	△393
現金及び現金同等物に 係る換算差額	148	96
現金及び現金同等物の 増減額 (減少：△)	△856	814
現金及び現金同等物の 期首残高	4,462	3,648
現金及び現金同等物の 期末残高	3,605	4,462

## ●連結株主資本等変動計算書

当期 (自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日)

(単位：百万円)

	株 主 資 本					評 価 ・ 換 算 差 額 等			純 資 産 合 計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主 資本合計	その他 有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計	
前 期 末 残 高	10,400	11,998	21,978	△768	43,609	1,009	345	1,355	44,964
新 株 の 発 行	615	614			1,230				1,230
剰 余 金 の 配 当			△1,656		△1,656				△1,656
当 期 純 利 益			5,546		5,546				5,546
自 己 株 式 の 取 得				△3,345	△3,345				△3,345
自 己 株 式 の 処 分		0		0	0				0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						△1,331	85	△1,245	△1,245
当 期 変 動 額 合 計	615	614	3,890	△3,345	1,775	△1,331	85	△1,245	529
当 期 末 残 高	11,016	12,612	25,869	△4,113	45,384	△321	431	109	45,493

# 単体財務諸表

## ● 貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当 期	前 期
	平成20年3月31日現在	平成19年3月31日現在
<b>資 産 の 部</b>		
流 動 資 産	<b>40,684</b>	<b>50,105</b>
現金及び預金	1,889	2,296
受取手形	2,638	6,789
売掛金	17,889	19,073
営業未収入金	2,395	3,538
製 品	2,285	3,795
原 材 料	8,190	8,142
仕 掛 品	2,854	3,107
貯 蔵 品	231	253
繰延税金資産	1,182	1,426
未 収 入 金	721	1,271
そ の 他	418	441
貸倒引当金	△11	△30
固 定 資 産	<b>31,693</b>	<b>33,929</b>
有 形 固 定 資 産	<b>20,949</b>	<b>21,833</b>
建 物	9,455	9,953
構 築 物	479	556
機 械 装 置	5,402	5,375
車 両 運 搬 具	4	4
工 具 器 具 備 品	1,074	1,488
土 地	4,208	4,208
建 設 仮 勘 定	322	244
無 形 固 定 資 産	<b>420</b>	<b>516</b>
ソ フ ト ウ ェ ア 等	420	516
投 資 そ の 他 の 資 産	<b>10,323</b>	<b>11,579</b>
投 資 有 価 証 券	3,747	5,622
関 係 会 社 株 式 ・ 出 資 金	4,705	4,614
繰延税金資産	661	850
そ の 他	1,323	589
貸倒引当金	△113	△97
資 産 合 計	<b>72,377</b>	<b>84,035</b>

科 目	当 期	前 期
	平成20年3月31日現在	平成19年3月31日現在
<b>負 債 の 部</b>		
流 動 負 債	<b>25,859</b>	<b>32,519</b>
支 払 手 形	2,474	3,292
買 掛 金	4,768	5,190
営 業 未 払 金	6,018	7,357
短 期 借 入 金	5,500	1,000
一年内返済予定の長期借入金	1,305	5
未 払 金	1,346	4,550
未 払 消 費 税	2,353	2,911
未 払 法 人 税 等	529	—
未 払 法 人 税 等	366	3,056
前 受 金	693	2,020
預 り 金	92	75
製 品 補 償 引 当 金	83	60
受 注 損 失 引 当 金	93	—
設 備 購 入 支 払 手 形	234	2,998
固 定 負 債	<b>1,462</b>	<b>6,700</b>
社 債	360	1,590
長 期 借 入 金	5	1,310
長 期 未 払 金	199	—
退 職 給 付 引 当 金	—	2,847
役 員 退 職 慰 労 引 当 金	—	188
長 期 預 り 金	897	764
負 債 合 計	<b>27,321</b>	<b>39,220</b>
<b>純 資 産 の 部</b>		
株 主 資 本	<b>45,377</b>	<b>43,805</b>
資 本 金	<b>11,016</b>	<b>10,400</b>
資 本 剰 余 金	<b>12,612</b>	<b>11,998</b>
資 本 準 備 金	11,797	11,183
そ の 他 資 本 剰 余 金	815	815
利 益 剰 余 金	<b>25,862</b>	<b>22,174</b>
利 益 準 備 金	1,286	1,286
そ の 他 利 益 剰 余 金	24,575	20,887
別 途 積 立 金	18,000	13,000
繰 越 利 益 剰 余 金	6,575	7,887
自 己 株 式	△4,113	△768
評 価 ・ 換 算 差 額 等	△321	1,009
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	△321	1,009
純 資 産 合 計	<b>45,055</b>	<b>44,814</b>
負 債 純 資 産 合 計	<b>72,377</b>	<b>84,035</b>

## ●損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当 期	前 期
	自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日	自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日
売上	89,135	99,506
売上原価	66,692	72,997
売上総利益	22,443	26,509
販売費及び一般管理費	13,400	14,399
営業利益	9,042	12,109
営業外収入	508	590
受取利息・配当金	204	253
その他	303	337
営業外費用	736	411
支払払利息	74	40
売上割引	273	228
為替差損	258	—
その他	130	143
経常利益	8,813	12,288
特別利益	889	45
固定資産売却益	38	7
退職給付信託設定益	810	—
貸倒引当金戻入	—	38
その他	40	0
特別損失	545	197
固定資産処分損	88	197
製品補償引当金繰入	90	—
投資有価証券評価損	351	—
その他	14	—
税引前当期純利益	9,157	12,136
法人税、住民税及び事業税	2,650	4,334
法人税等調整額	1,162	605
当期純利益	5,344	7,195

## ホームページのご紹介

当社および当社グループ会社の会社情報、投資家情報、商品情報、海外情報などにつきましては、ホームページにてご案内いたしております。  
下記アドレスまで皆様のアクセスをお待ちしております。

<http://www.ckd.co.jp/>



## ●株主資本等変動計算書 当期 (自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日)

(単位：百万円)

	株 主 資 本							評価・換算差額等			純資産合計		
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金		評価・換算差額等合計	
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金 別途積立金	利益剰余金合計						
前 期 末 残 高	10,400	11,183	815	11,998	1,286	13,000	7,887	22,174	△768	43,805	1,009	1,009	44,814
当 期 変 動 額													
新 株 の 発 行	615	614		614						1,230			1,230
剰余金の配当							△1,656	△1,656		△1,656			△1,656
別途積立金の積立						5,000	△5,000	—		—			—
当期純利益							5,344	5,344		5,344			5,344
自己株式の取得									△3,345	△3,345			△3,345
自己株式の処分				0	0				0	0			0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)											△1,331	△1,331	△1,331
当 期 変 動 額 合 計	615	614	0	614	—	5,000	△1,312	3,687	△3,345	1,572	△1,331	△1,331	240
当 期 末 残 高	11,016	11,797	815	12,612	1,286	18,000	6,575	25,862	△4,113	45,377	△321	△321	45,055

# 会社概要

## 会社概要

(平成20年3月31日現在)

社 名 CKD株式会社 (商号シーケーディ株式会社)  
 設 立 昭和18年4月2日  
 資 本 金 11,016,380,748円  
 本 社 〒485-8551 愛知県小牧市応時二丁目250番地  
 代表電話 (0568) 77-1111

従 業 員 数 2,095名 (連結3,442名)

主要な事業内容 自動機械装置及び省力機器、空気圧制御機器、駆動機器、空気圧関連機器、流体制御機器、コントロール機器など機能機器の開発・製造・販売・輸出

## 役員

(平成20年6月26日現在)

### 取締役

代表取締役会長 石田 正 範  
 代表取締役社長 梶本 一 典  
 取 締 役 金田 堅 聖  
 取 締 役 塚原 正 彦  
 取 締 役 徳田 重 友  
 取 締 役 佐伯 弘 文  
 取 締 役 岩崎 秀 雄

### 監査役

常勤監査役 酒井 聰  
 監 査 役 家中 淑 夫  
 監 査 役 長谷川 式 夫  
 監 査 役 奥村 敦 軌

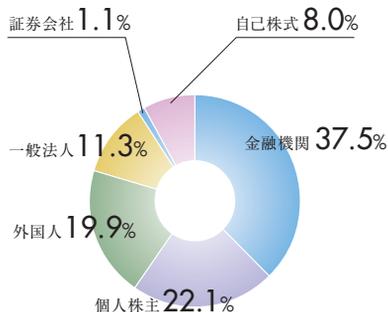
### 執行役員

常務執行役員 金田 堅 聖 執行役員 窪岡 雅 博  
 常務執行役員 小笠原 良 成 執行役員 丹羽 浩 二  
 常務執行役員 古新 久 二 執行役員 水野 博 文  
 執行役員 塚原 正 彦 執行役員 神田 祥 史  
 執行役員 徳田 重 友 執行役員 山内 吉 一  
 執行役員 永松 昌 裕 執行役員 坪井 和 巳

## 株式の状況

(平成20年3月31日現在)

■ 発行可能株式総数 233,000,000株  
 ■ 発行済株式総数 69,429,349株  
 ■ 株主数 11,529名  
 ■ 所有者別株式数の分布



## 大株主

(平成20年3月31日現在)

株 主 名	当社への出資状況	
	持株数 (千株)	出資比率 (%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	5,248	8.22
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	4,837	7.58
ビービーエイチ フォー フィデリティー ロープライス ストック ファンド	2,000	3.13
第一生命保険相互会社	1,900	2.98
三井住友海上火災保険株式会社	1,860	2.91
株式会社三井住友銀行	1,581	2.48
CKD持株会	1,537	2.41
住友生命保険相互会社	1,374	2.15
日本生命保険相互会社	1,234	1.93
住友信託銀行株式会社	1,000	1.57

(注) 上記出資比率は自己株式を除いて計算しております。

# 国内生産拠点



本社工場  
(愛知県小牧市)



春日井事業所  
(愛知県)



四日市事業所  
(三重県)



犬山事業所  
(愛知県)

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日
公告方法	そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日 当社のホームページに掲載します。 ( <a href="http://www.ckd.co.jp/japanese/ir/bspl.htm">http://www.ckd.co.jp/japanese/ir/bspl.htm</a> )
株主名簿管理人 同事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社 大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社 証券代行部 郵便物送付先 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話照会先 〔住所変更等用紙のご請求〕 ☎0120-175-417 〔その他のご照会〕 ☎0120-176-417
同取次所 单元未満株式の 買取および買増	ホームページ <a href="http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html">http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html</a> 住友信託銀行株式会社 全国各支店 单元未満株式の買取請求および買増請求は、上記の株主名簿管理人事務取扱場所および同取次所でお取扱いしております。(証券保管振替制度をご利用の場合は、お取引の証券会社にお問い合わせください。)
单元株式数 上場市場 ホームページアドレス	100株 東京証券取引所および名古屋証券取引所市場第一部(証券コード6407) <a href="http://www.ckd.co.jp/">http://www.ckd.co.jp/</a>

自動化で未来を拓く

# CKD